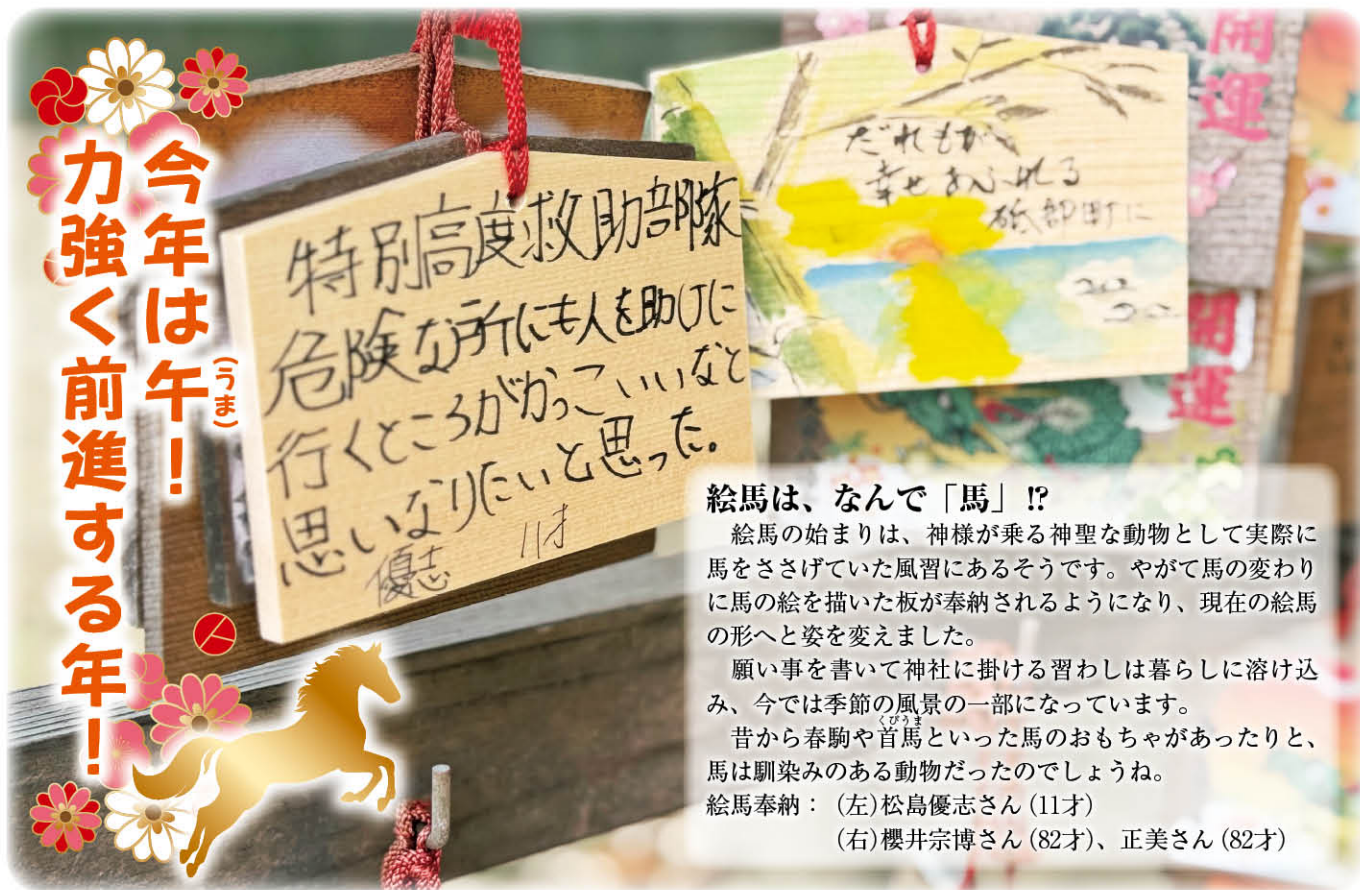




社協だより



今年は午(うま)
力強く前進する年!

絵馬は、なんで「馬」!?

絵馬の始まりは、神様が乗る神聖な動物として実際に馬をささげていた風習にあるそうです。やがて馬の変わりに馬の絵を描いた板が奉納されるようになり、現在の絵馬の形へと姿を変えました。

願い事を書いて神社に掛ける習わしは暮らしに溶け込み、今では季節の風景の一部になっています。

昔から春駒(はるうま)や首馬(くびうま)といった馬のおもちゃがあったりと、馬は馴染みのある動物だったのでしょね。

絵馬奉納：(左)松島優志さん(11才)

(右)櫻井宗博さん(82才)、正美さん(82才)

新年のご挨拶



社会福祉法人
砥部町社会福祉協議会

会長 上田 文雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会運営について格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は物価高騰や地域の人材不足、生活困窮や孤立など、地域を取り巻く課題が一段と複雑化した一年でした。

2026年は、社会福祉協議会として「誰もが安心して暮らせる地域づくり」をより一層前進させる一年と位置づけています。特に「地域でのつながりづくり」「高齢者・子供・障がいのある人など誰もが参加できる場づくり」「生活困難を抱える世帯への早期支援と伴走支援の充実」「関係機関・団体との連携による包括的な支援体制の強化」これらを重点に、住民の皆様とともに地域福祉の基盤づくりを進めてまいります。

本年も「地域の力を信じ、地域とともに歩む社協」であることを心に刻み、職員一同、より丁寧で確かな支援に努めてまいります。引き続き、皆様の御協力をお願いします。

皆様にとりまして2026年が健やかで実り多い一年となりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

第12回砥部町福祉フェスタ with 子育てフェスタ

10月26日(日)砥部小学校
ラスバンド部と石井東ジュニアバンドの皆さんによるオー
プニング演奏により福祉フェ
スタがスタートしました。

今年は46団体の皆さんにご
協力いただき、約1,200
人来場していただけまし
た。たくさんのおいしい食
物や雑貨の販売、防災や動物
のふれあい、福祉車両展示な
ど盛りだくさんで、大人から
子供まで楽しんでいただけ
ました。

ふくしとは、「ふ」だんの
「く」らしの「し」あわせ。普
段、福祉のことを考える機
会のない人も、1人1人が思
いやりや支え合うことでしあ
わせにつながっていきます。

ご来場いただいた皆様、
ブース出展やステージ出演
でイベントと一緒に盛り上
げてくださった皆様、イベ
ントに協賛・後援をいた
だきました皆様、ありがとう
ございました。



砥部小学校ラスバンド部
と石井東ジュニアバンドの
皆さんのオープニング演奏



ボランティアセンターの
芋炊き販売コーナー



多くの人でにぎわった
販売コーナー

赤い羽根共同募金イベント募金

211,679円集まりました

フェスタ当日は、民生児童委員協議会の皆さん
に運営支援いただいた実行委員会ブース、社協も
2ブースで募金活動を行いました。また
「ボランティアグループアスパラ様」
「ボランティアグループスマイル様」
「砥部町ふれあいいきいきサロン連絡協議会様」
「みどりのらくえん様」からもご寄付をいただき、
合計211,679円のご寄付が集まりました。皆
様のあたたかい募金をありがとうございました。

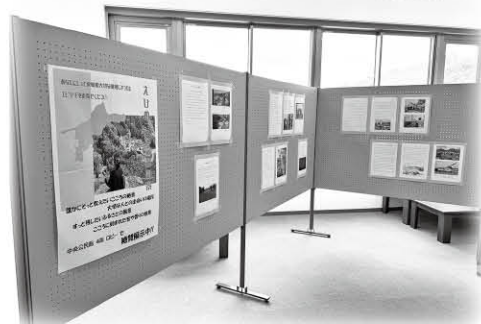


子育てフェスタ

子育てフェスタは同敷地内で、
ちびっこひろば・移動児童館・お仕
事体験を開催しました。
ご家族での来場が多く、どのコー
ナーも賑わいました。福祉フェスタ
と一緒に開催させてもらうことで地
域の人たちとの交流の輪も広がりま
した。



えひめこころの風景



みなさんが残していきたい
えひめの風景を教えてくださいました



たくさんのご応募
ありがとうございました

「サロンすみれ」

代表の「大野 幸恵さん」にインタビュー



サロン代表
大野 幸恵さん

○活動開始のきっかけ

天神区もおひとり暮らしの高齢者が増え、人と話す機会が少なくなってきました。
月1回でも集まっておしゃべりをしたり、軽い運動をして、健康に気を付けながら、つながりづくりをしたいと思ったのがきっかけです。



サロンすみれの皆さん

○自慢ポイント

わきあいあいと楽しく活動をしています。



体操をする皆さん

○これからしてみたいこと

9月から始まったばかりなので、無理なく集まりながら、皆さんが元気に通える場所にした
い。
高齢者の詐欺被害防止講座なども開催し、お互いに気にかけて
合う関係が続けて行きたい。

サロンってなあに？

気楽に集まってお茶を飲みながら…おしゃべりしながら情報を交換したり、趣味活動をしたり、お互いを助け合ったり…身近な地域で集まれる「居場所」です。



地域にあるサロンを知りたい！参加したい！サロンを立ち上げたい！
など、サロンに関することは砥部町社会福祉協議会までお気軽にお問合せください。

担当：稲葉、土井



収穫後のお食事会

10月16日(木)川井地区大畑にある農園「みどりのらくえん」で、地元の人々oh!はたけ〜で、地元の住民の皆さんと児童館の親子約15組が、さつま芋の収穫を行いました。
春に自分たちで植付したものを収穫し、地元の住民の皆さんが料理をしてくれて、みんなで美味しくいただく、という食物の一連の流れを親子が共に体験していました。
この農園は、地元住民の生きがい作りや多世代交流、子供たちにとっては食育・土育などの福祉教育の場所として大活躍しています。

農作業を通じた多世代交流会

「みどりのらくえん」oh!はたけ〜



協力して芋ほり



収穫したさつま芋

実は今、他の地区でも、スポーツやお食事を通しての多世代交流が活発になってきているんです。地域の皆さんがそれぞれに「世代間のつながりの必要性を感じている」ということでしょう。
こういった福祉活動を、私たち砥部町社協はサポートしていますので、この流れに乗って福祉活動を始めてみませんか？



音符が読めなくても弾けます!!



生きがい教室

大正琴



芸能発表会の様子



村上真琴先生

音色が綺麗な楽器です(^▽^)/
見学・体験随時行っています。

一緒に奏でてみませんか♪

村上真琴先生：090-7145-5322
砥部町社会福祉協議会：089-962-7100

場 所：老人福祉センター1階（大南719）
日 時：毎月第1・第3金曜日 9:30～11:30

大正琴という趣味を通じた仲間づくりから、生きがいづくり、
また、地域のサロンやカフェに出向き、演奏活動を行うことで、
社会参加や社会貢献に繋がっています。



講座 開催のお知らせ

『ストレスに負けない！ 健やかに眠るコツとは』

講師：日本睡眠教育機構
睡眠健康指導師 富岡義之氏

令和8年1月28日(水)

受付：13:30～

時間：14:00～15:30

場所：総合福祉センターはらまち2階
コミュニティホール

申込〆切：令和8年1月23日(金)まで

良質な睡眠
リラックス方法
自律神経のバランス

『好きな香りで リラックス』

講師：松山アロマ・ヒーリングスポット
「フララ」 佐々木すみれ氏

令和8年2月20日(金)

受付：13:30～

時間：14:00～15:30

場所：総合福祉センターはらまち2階
コミュニティホール

申込〆切：令和8年2月13日(金)まで

セルフケア
アロマスプレー作成
心と身体をリラックス



砥部町民の方が対象で、参加費無料です。
申込はお電話で受付しております。（先着順）
ご参加、お待ちしております。

障がい者(児)福祉普及啓発事業
担当：日野、中岡
TEL：(089) 962-7100



心配ごと相談

毎月1回中央公民館1階で、心配ごと相談所を開設しています。相談員は、弁護士、司法書士、社会福祉士が交替で担当致します。生活上の悩みや心配ごとなどひとりで抱え込まず、まずは相談してみてください。相談時間は30分となります。秘密は厳守します。

弁護士 無料相談

1月15日(木)
13:30 ~ 15:30
* 予約制

司法書士 無料相談

2月4日(水)
13:30 ~ 15:30
* 予約制

社会福祉士 無料相談

3月12日(木)
13:30 ~ 15:30
* 電話相談も可

●場所：砥部町中央公民館 1 階 ●留意事項：初めての人を優先させていただきます。(担当：森川、中岡)

登録ヘルパーさん大募集!

訪問介護は自分のライフ
バランスに合わせた
働き方ができます。



【応募資格】

- ・ホームヘルパー2級(初任者研修)資格以上
- ・普通自動車または原付バイクの運転ができる方。

【勤務形態・賃金】

職 種	採用人数	勤務時間	賃 金
非常勤 訪問介護員	若干名	8:00 ~ 18:00 (1件あたり 1時間程度)	1,250円 ~ 1,500円 /時間給

※週1日、1日1件からOK

【待遇】※賞与(年2回)・資格手当・移動費支給・有給休暇

【応募方法】在宅福祉課 TEL962-7100 (担当:山内、松島)

まごころ銀行

11月 あたたかい善意を
一般寄付 ありがとうございました。

第7回アトムカップ
チャリティーグランド・ゴルフ大会
砥部町 陶街道 ゆとり公園 様

まごころ銀行とは、地域住民の皆様からの善意の寄付や寄贈を受け、援助を必要としている人々や地域福祉事業等の貴重な財源として還元しています。

事務職員(相談支援専門員) 募集1人



【雇用形態】嘱託職員

【業務内容】当事者(障害)、家族などの相談にのり情報提供や関係機関に繋ぐ等の支援や障害福祉サービス利用にあたり、申請手続きの代行(必要時)、計画書の作成、モニタリング(振り返り)等

【年齢】不問

【学歴】高卒以上

【免許・資格】介護福祉士、社会福祉士などの福祉資格で相談業務を5年以上の経験者
相談支援専門員初任者研修、現任研修修了者(どちらかあれば尚可)

普通自動車運転免許(AT限定可)

【給与】196,200円 ~ 215,200円

【賞与】年2回(前年実績4.5か月分)

【福利厚生】雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金加入 ※退職金制度等有

【就業時間】8:30 ~ 17:15

【休日等】土日祝日、年末年始12/29 ~ 1/3

【選考方法】書類選考後、面接を行います。面接日時および選考結果は、郵送もしくは電話で通知致します。

【応募書類等】履歴書(写真貼付)、職務経歴書

●最終学歴が分かる証明書(写)

●資格証明書(写) (介護福祉士、社会福祉士等)

※砥部町社会福祉協議会まで持参もしくは郵送してください。

【応募期限】随時

【特記事項】

・応募書類については、求人者の責任で破棄します。

【担当者】総務課 三谷

..... お問い合わせ：砥部町社会福祉協議会 089-962-7100

今年は午年。皆様は普段、馬を見かける機会がありますか？砥部町では「こべ2000」に行けば、今治市で育成、保存されてきた日本最小の在来馬「野間馬」に出会うことができます。

さてこの記事で取り上げていくのは、「人と馬の暮らし」。

現代馬は、乗馬・競馬・食などで活躍しているが、まだ自動車などが開発されていない昔、砥部町の馬にまつわる事柄や、古来から馬は人々のかけがえのないパートナーだったことに着目していきたいと考えている。

いつものことながら「とべの地名」などの資料から馬に関する記述をリサーチ。そのひとつに外山の砥石産業が盛んだった頃、碎石や砥部焼を大洲藩などに馬を手段として運搬していた。

当時のルートは様々あるが、絞って外山から「おそごえ峠」を経由し、大角蔵から七折、そして山越



砥石山 (外山区)



峠付近「七折地藏尊」に到着！ここから伊予市に向かうには直接、谷を下る難所場？先にある大谷池のダム底に古道があったらしい。



古道らしき入り口には、庚申さんの石仏が鎮座。イチヨウ落ち葉の絨毯を通り、奥に進んでいく。(七折)

えで伊予市郡中まで馬と共に進んだらう古道の一部を確かめることに。
教育委員会資料「旧街道調査報告書」や地元の方のご協力により、七折の古道らしき入り口が判明したので、実際に歩いてみることにした。
七折は地名通り伊予市へ向かうルートは幾度ものカーブに差し当たるのだが、このルートは、カーブを回避できる谷沿いから峠近くの「七折地藏尊」に向かう、いわば短距離早道のハイパスルート？。

傾斜のある古道を実際に歩いて感じることは、近道のありがたさや当時、重量のある砥石などを幾度も峠を越え、運んでくれる馬の力は、ほんとうに頼もしい存在だったというところ。また別の角度では、大角蔵の旧道沿い田は、馬が通ることによる副産物(馬糞)のおかげで、米がよく実ったとの記述もある。いずれにしても馬は、当時の生活を支えてくれた存在だとうかがえるだろう。

予想通りスムーズに通ることはままならず、立木や倒木土砂を回避しながら、かすかに残る道をゆく。
車道近くに差し掛かると、残念ながら、車道から投げ捨てられただろ電気製品等の不法投棄が目立つ。



「大谷池」から伊予市に下ったところにある番所跡。

次にゆくのは、砥部地区客の「経塚さん」。昔、この付近の砥部川に石橋が掛かっており、度々、石橋から馬が滑落して亡くなったことで馬を祀る塚を建立したという。
こちらも初めて訪れたが、趣きのある朱色の屋根がとてもよく、また周辺は、情緒ある里山の風景をあじわえるため、散策・散歩コースとして非常によい所だ。この塚

最後に、町内にはまだまだ馬にまつわる場所がいくつもあり、機会があれば足を運んでみたいものだが、当時の生活がいかに馬と密接に関わっていたのかわかる。さらに言えば、馬や牛への労いや感謝などからくる祭りや供養等を行っていたことから、人と馬の共生関係が垣間見れる。そして当時の文化や考え方は、現代にも通じる大事な要素であり、そこから学べることは山ほどあるのではないかな。



砥部地区 客の経塚さん。とべ四国四十四番札所も隣接。昭和57年に立て直されたとのこと。

記事にあたり、ご協力いただいた、たくさんの方々へ感謝申し上げます。
《社協地域探検隊》



「やさしさ」を抱きしめよう

編集・発行

社会福祉法人

砥部町社会福祉協議会

〒791-2120 愛媛県伊予郡砥部町宮内1369番地

(砥部町中央公民館内)

TEL (089) 962-7100 / FAX (089) 962-7186

メールアドレス info@tobe-shakyo.jp

ホームページアドレス <http://www.tobe-shakyo.jp/>



とべしゃきょうHP



とべしゃきょう LINE



とべしゃきょうインスタ

★最新情報をいち早くお知らせ★

フォロー＆お友達追加 大歓迎!!

★ あなたの声をお待ちしております ★

社会福祉協議会に関するみなさんからのご意見、ご質問がありましたら事務局までご連絡ください。